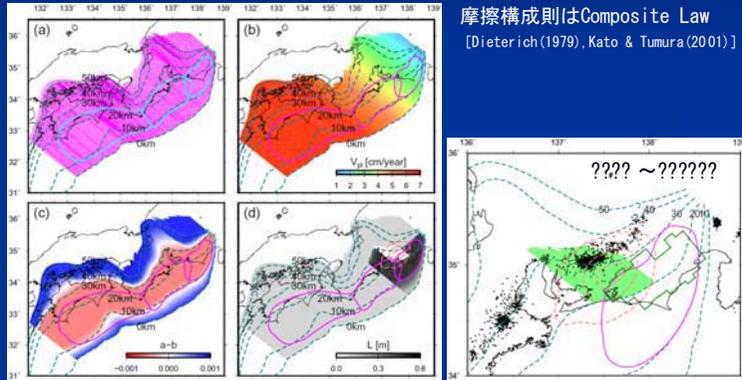
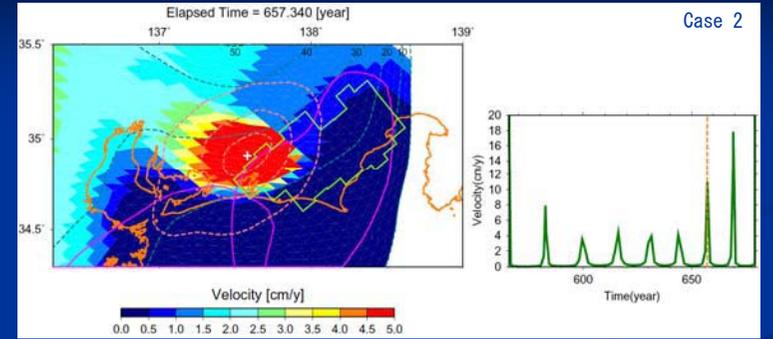


パラメータ設定

沈み込んだ海嶺を考慮して東海地域の**特徴的すべり量L**を大きく⇒東海の割れ残り
東海スロースリップ域のLと有効法線応力 σ を小さく⇒繰り返すスロースリップ



結果 (スロースリップイベント)

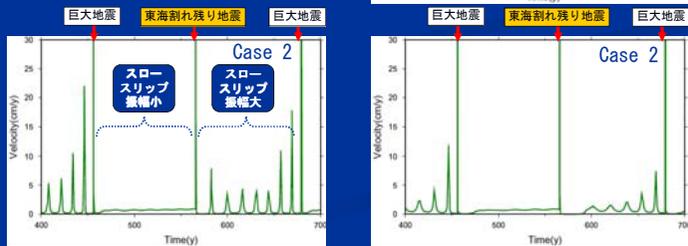


周期約15年のスロースリップイベントが発生

結果 (スロースリップイベント)

Case	σ [MPa]	a-b [10]	L [mm]	周期 [y]
1	20	-5.0	10.6	6-10
2	30	-5.0	17.0	12-17
3	40	-5.0	21.0	15-17

近年の大規模なスロースリップが発生したのは、1994年の東南海地震で東海地域が割れ残ったことに起因しているのかもしれない。



応力分布

東海地域が割れ残った場合 東海地域も割れた場合

